

※以下の内容を記入し、**走行日から5日以内**に、メールにて事務局(challenge@rt-tsukuba.jp)までお送り下さい。
この情報は、つくばチャレンジ 2018 ホームページで共有します。

つくばチャレンジ 走行実験の内容および結果レポート

つくばチャレンジ 2018 第 8 回実験走行 2018/ 11/ 10(土)

ロボット No.: 1819-1

ロボット名: TITANIC rev.2

チーム名: 関西学院大・東海大・東洋大 合同チーム(2)

記載責任者: 角田 絵未

- 1 実験の目的(特に準備したことがあれば、それもお書き下さい。)
 - ・確認走行区間の自律走行確認

- 2 実験の具体的内容と成果
 - 2.1 実験の具体的内容
 - ・自律走行に用いる, 走行軌跡の調整

 - 2.2 実験成果
 - ・確認走行区間の 3 分の 2 程の自律走行達成

- 3 自律走行実験を行ったチームは以下にもお答え下さい。
 - 3.1 自律走行の内容
 - ・走行区間の地図を作成し, 走行経路を作成した地図上に置き, ロボットが走行経路をたどることにより自律走行を行う。

 - 3.2 自律走行の結果(どこまで走れたか等)
 - ・確認走行区間の 3 分の 2 程の自律走行達成

 - 3.3 残された課題
 - ・ロボットが走行軌跡と異なる方向へ進んでしまうこと

 - 3.4 失敗した理由
 - ・走行軌跡が同じ地点に重複しているため進行方向が狂ってしまったためと考える

 - 3.5 確認走行を行った場合は、その記録
 - ・なし

 - 3.6 記録走行を行った場合は、その記録
 - ・なし

4. 運営側、実行委員へのコメントや質問等があればお書き下さい。